

施設名	井風呂谷川砂防堰堤群								
所在地	岡山県 総社市								
管理者等	岡山県								
施設種類・分野	砂防								
施設概要 (明治期との関連含む)	明治時代、岡山県内では各地に砂防堰堤が築造された。高梁川に注ぐ榎谷川の支流・井風呂谷川の砂防堰堤は、宇野圓三郎の指導で23基造られており、岡山県の治山治水事業の始まりの地とされている。なかでも、第三号堰堤は岡山県を代表する大規模な石造砂防堰堤である。明治33(1900)年、建設時の堰堤は高さが7.3m、幅が40mであったが、その後44年頃と昭和初期の2度嵩上げされ、高さが11.6m、幅が72.5mになった。1段目と2段目は空積み、3段目は練り積みで、形は現在の砂防ダムに似ている。(文献2より抜粋)		 <p>出典: 総社市HP</p>						
築造時期	明治後期		時期詳細	明治33～44頃					
関連人物	宇野圓三郎								
関連企業	-								
トピックス (特徴的エピソード)	県を代表する砂防堰堤で、公園施設として広く市民に親しまれている。(文献3より抜粋)								
歴史的な遺産等の指定の有無等	○	選奨土木遺産(土木学会)	-	文化財(文化庁)	登録有形文化財(建造物)	近代化産業遺産(経産省)	-	世界遺産(ユネスコ)	-
その他 (関連資料、文献)	文献1: 土木学会 日本の近代土木遺産(改訂版) 文献2: 中国建設弘済会アーカイブス (http://www.ccba.or.jp/archives/pdf/37.ihurodani.pdf) 文献3: 文化遺産オンライン(http://bunka.nii.ac.jp/heritages/detail/167992)								
管理者等のHP (URL等)	総社市 http://www.city.soja.okayama.jp/bunka/kanko/touroku_bunkazai/kuni01.html								